デトロイト日本商工会月刊会報
Views
4
2021
Issue 325

新首席領事着任のご挨拶

首席領事 大槻（おおつき） 広美（ひろみ）

JBSD会員の皆さま、こんにちは。

このたび、在デトロイト日本国総領事館に着任しました大槻広美と申します。デトロイトに到着したのは、昨年12月20日ですので、こちらに到着して、早くも3か月以上がたちました。

アメリカでの勤務は二度目になりますが、ミシガン州のみならず、中西部で勤務するのは初めてになります。昨年は、ミシガン州と言えば、州議会に銃を持った人々が押し寄せたり、知事の誘拐未遂事件があったりと世界的にもニュースを賑わせましたので、いったいどんなところだろうと不安もありつつ赴任して参りました。

前任地はスイスのジュネーブで、多くの国際機関があることから、日本を始め世界の国々が代表部をおいており、私も日本政府代表部で世界貿易機関（WTO）の関係業務を担当していました。イメージ的に全く違うデトロイトとジュネーブですが、ジュネーブは毎年3月のモーターショー、デトロイトも北米オートショーの開催地、そして、いずれも国境の町であり、湖の近くという立地と共通点もあるものだなと思っていました。

毎年楽しみにしている大イベントであったモーターショーもオートショーも、いずれも中止となった2020年でしたが、2021年となり、ここアメリカでは、1月にバイデン新政権が発足し、バイデン大統領が“America is back”と言われたように、国際場裏においてもアメリカへの期待が大きいと感じています。

こうしたタイミングに、再度アメリカで勤務する機会を頂けたことは大変幸運だと思っています。多様なアメリカは、実際その地域に住んでみないことには理解できないことが多いと思います。デトロイトやデトロイト近郊とミシガン州の各地はそれぞれ違った顔があると思いますので、滞在中にミシガン州内各地にも実際に足を運んでみたいと思っています。今回ミシガンに来て、こんなにたくさんの日系企業の方々が活躍されていること、日本との姉妹都市交流が大変盛んであること、日本語教育も全米の中でも盛んであることを初めて知りました。ミシガン州が日本とのつながりが深い州だということは、自分に取って嬉しい驚きでした。

昨年はパンデミックの影響が企業活動や、交流プログラムや学校の授業まで様々なところに出て、皆さま厳しい日々を過ごされたことと思います。2021年になって、ワクチン接種も進み、少しは通常生活に戻れる見通しが出てきたように思われますが、総領事館として、こうした時こそ、皆さまへ適時に必要な情報提供ができるよう、お役にたてる、頼りにしていただける存在となれるよう、微力ではありますが、力を尽くしていきたいと思っています。これからどうぞよろしくお願い申し上げます。

© 2021 JBSD. All rights reserved. 04-21 Designed by JT&D. Opinions expressed here are those of the authors and do not necessarily reflect those of the JBSD.

在デトロイト日本国総領事館提供によるトピックスとお知らせ

当館ホームページ及び領事メール登録のご案内

当館ホームページでは、ミシガン州及びオハイオ州の感染者数の推移を始め、当地における新型コロナウイルスに関する最新情報を掲載していますので、ぜひご覧ください。

総領事館ホームページ ▶ www.detroit.us.emb-japan.go.jp/itprtop_ja/index.html

また、在留邦人の皆様に有益と思われる情報や各種のお知らせをEメールで速やかにお送りする領事メールを、当館の在留届、メールマガジン又はたびレジに登録されたメールアドレスに送信しています。領事メールでは、新型コロナウイルス感染症に関する日本及び米国における新たな措置等の最新情報や、州政府等による夜間の外出禁止制限等、また、各地での抗議活動に関する情報等をお送りしています。

当館からの領事メールの登録を希望される方は、以下のリンクから登録を行ってください。帰任に伴う領事メールの配信停止には、帰国届の提出、メルマガ登録やたびレジ登録の解除が別途必要となります。

在留届、帰国届の提出 ▶ www.ezairyu.mofa.go.jp/RRnet/index.html
メールマガジン登録 ▶ www.detroit.us.emb-japan.go.jp/itpr_ja/emagazine.html
たびレジ登録 ▶ www.ezairyu.mofa.go.jp/tabireg/simple/register

当館へお越しいただく際にご留意いただきたい事項（予約制、入口での検温等）について

現在、新型コロナウイルス対応として、在留邦人の皆様が領事窓口を安全にご利用頂けるよう、待合室での密集・密接を避けるための措置として、当館領事窓口は予約制となっています。来館に当たっては、事前に電話等にて来館時間を予約くださいますようお願いいたします。

Tel: 313-567-0120（代表）

また、当館が入居するルネッサンスセンタービルに入構する際、入口で健康状態等に関する質問及び体温測定が行われます。体温が高い場合等、入構が認められないことがありますので、体調がすぐれない場合は体調が回復してからお越し頂きますようお願いいたします。また、入構に際してはマスクの着用が必要です。

詳細は、当館HPをご確認ください。
www.detroit.us.emb-japan.go.jp/itprtop_ja/index.html

新型コロナウイルス感染症に関する新たな水際対策措置及び出国前検査証明の要件緩和について

※ 3月12日に当館からお送りした領事メールと同じ内容です。　※3月19日以降、出国前検査証明書を提示できない場合は日本入国が認められません。
※ 出国前検査証明書のフォーマットが改定され、一部要件が緩和されました。

水際対策強化に係る新たな措置

3月5日に決定された新型コロナウイルス感染症に係る新たな措置に関し、日本政府は、日本に入国する全ての人（日本人を含む）について、3月19日以降の入国に際し出国前検査証明書を所持していない場合は、検疫法に基づき日本への上陸を認めない措置を講じます（この措置により、検査証明書を所持していない場合は、出発国において航空機への搭乗を拒否されることになります）。

※ これまで、日本人が米国からの帰国に際し検査証明を所持していない場合は、入国後3日目の検査で陰性判定が出るまで、検疫所が確保する宿泊施設で待機することが求められていました。

日本政府は、水際対策に係る重層的な措置を講じています。日本への帰国を予定されている方は、以下の厚生労働省HPから措置の詳細を必ずご確認ください。

厚生労働省HP: 水際対策に係る新たな措置について【重要情報】
www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000121431_00209.html

3月5日付け外務省広域情報：新型コロナウイルス感染症に関する新たな水際対策措置（9）
www.anzen.mofa.go.jp/info/pcwideareaspecificinfo_2021C040.html

出国前検査証明の要件緩和

厚生労働省は、検査証明書のフォーマットを改定するとともに、要件の一部を以下のとおり緩和しました。

1. 検査方法の追加

従来のReal Time RT-PCR法、LAMP法、抗原定量検査（CLEIA）に加え、認められる検査法として新たにTMA法、TRC法、Smart Amp法、NEAR法、次世代シーケンス法が追加されました。

2. 印影・署名の代替方法

2–1. 出国前検査証明には医療機関印影または医師の署名が原則必要ですが、米国については、医療機関や検査機関など米国で検査証明書の発行権限がある機関において、医師や検査技師、看護師など権限のある者により作成された検査証明については、医療機関等のレターヘッド及び氏名の印字があれば、印影や署名がなくても、日本入国の際の検査証明書として使用することが可能となりました。

2–2. ただし、この場合は（厚生労働省が指定する検査証明書フォーマットではなく）任意の書式となるため、下記項目が全て英語で記載されている必要がありますのでご留意ください。

- 人定事項（氏名・パスポート番号・国籍・生年月日・性別）
  ※ 医療機関等が発行する検査証明書に「パスポート番号、国籍、生年月日、性別」の記載が無い場合は、検査証明書の余白に当該機関又は受検者ご本人が手書きでこの情報を記入することも可能です。
- COVID-19の検査証明内容（検査手法（厚生労働省指定の検査証明書のフォーマットに記載されている採取検体、検査法に限る）、検査結果、検体採取日時、検査結果決定年月日、検査証明交付年月日）
- 医療機関等の情報（医療機関名（又は医師名）、医療機関住所、医療機関印影（又は医師の署名））
  ※ 左記2–1.のとおり。

3. 改定後の検査証明のフォーマット

改定後の検査証明のフォーマットは、左記1.に記載した厚労省ホームページの他、外務省ホームページ（www.mofa.go.jp/mofaj/ca/fna/page25_001994.html）にも掲載されています。

庭のさくら

ホール まゆみ

長谷川さんから随筆のお話をいただいて、毎日眺めている庭の桜の木を紹介したくなりました。このパンデミックになってからは、私はこのたくましい桜の木に癒されています。

今住んでいる家に引っ越してきたのは20年ほど前なのですが、初めてこの家を見たときはこんもりと木々に囲まれて玄関が見えないくらいでした。南側のお隣の庭に大木が何本かあって、木漏れ日で夏は涼しげだけれど、野菜を育てるのは難しそうな庭でした。引っ越してきてすぐ、木の専門家の指導のもと、病気の木、家に近すぎて倒れたら危険な木など、何本か取り除き、すっきりした家にはなりましたが、相変わらず、あまり日の当たらない庭でした。以前の持ち主の方は高齢の方たちだったそうで、庭の手入れは久しくされていなかったとのこと。こんもりだったのはそのせいだったようです。庭には花の咲く木はあまりありませんでした。

何年か経ち、補習校に子供が通い始めて、毎年卒業生が桜を植えていると聞いて、初めてオハイオでも、桜の木が手に入ることを知り、桜を庭に植えたいと思いましたが、日当たりのいい場所がないため、あきらめていました。たまたまお隣の庭仕事をしていた業者と話す機会があり、ヨシノチェリーなら手に入ると言われて、適した場所がないにもかかわらず、一本植えてほしいと頼んでしまいました。業者さんはここなら大丈夫と前庭の一番南側を指さして、植えてくれました。

それから1、2年はその若い桜の木は日本のさくらというよりも、アメリカンチェリーのようにまっすぐに伸びて育っていきました。咲く花と言えば、白い花びらでほんの一握りの花びらでした。5年ほどたったころ、シカが角を磨くためなのか、幹をごしごしと傷つけてしまったのですが、幹にプラスチックのカバーをかけ、木の傷薬を塗り、なんとか枯れずに済みました。10年たっても、春には、たった一日だけ、花びらが数えるほどひらくだけで、とうてい日本の桜とはいいがたいものでした。見た目もどちらかといえば、アメリカンチェリーのようにまっすぐに伸びていて枝もまっすぐ。日本のゆったりとしたくねりのある枝の桜の木ではありませんでした。夫はといえば、芝を刈るときに枝が邪魔だから枝を少し切りたいと言い出して、娘の家庭教師をしていただいていたK先生に、桜の枝は切らないほうがいいといわれたにもかかわらず、切ってしまったのです。

夫は、ひょっとして、業者さんがヨシノチェリーとして植えてくれたのは、違う種類ではないかと言い出し、私は私で、幹を傷つけられ、枝を切られ、桜の木は弱ってしまっているのかもとあきらめ始めていました。

ちょうどその年の秋、お隣のエルムの大木が病気で切られることになり、思っていた以上に桜の木に日が当たるようになったのです。春には桜が見られるかもと期待しましたが、春が来るとやはり桜の木は早々と緑の葉でおおわれてしまい、花びらしいものは一つもありませんでした。夫と二人、次の年も咲かないなら、そろそろ、新しい木に植え替えようと考えていました。植えてから12年たっていました。

エルムの木が取り除かれ1年と半年たった春、その春咲かなかったら新しい木に取り換えようと言われていた桜は、なんと、満開の花を咲かせました。それまで、10年以上、一握りの花びらしか咲かせなかった桜の木が、何とも言えない、淡いピンクの色をした桜の花を咲かせました。桜は、日が当たるのを待っていたのです。半年の日当たりでは十分ではなく、丸一年、日当たりのいい場所でなければいけなかったようです。夫婦で、桜の堂々とした「これでも私を切りたい？」と言わんばかりの咲きっぷりに頭が下がりました。

パンデミックで自粛が始まり、人々が散歩に出かけるようになった去年の3月終わり、桜は3度目の満開の花を見せてくれました。枝もゆったりとくねり、まさに日本の桜の風格をかもし出しています。傷ついた幹の部分は成長するにつれ、まわりがもりあがり、中に入り込むように隠れてきています。家の前を通る人たちが立ち止まって楽しみながら写真を撮っている声が窓から聞こえてきて、何とも言えない嬉しさでした。近所の人たちも、これが日本の桜ねと喜んでくれました。これを読んでいただける頃にはまた満開になっていることと思います。きっとまた家の前を散歩する人たちの目を楽しませてくれると思います。皆様もこの春にはお近くで桜を楽しむことができますよう祈っています。

次回はお孫さんとの時間を大切にしていらっしゃるハインズ孝子さんです。ハインズさんは現在、冬の間だけ暖かいテキサスでお過ごしです。

JBSD イベント報告

商工部会・KDDI America, Inc. 共催

「最新テクノロジー情報について」ウェビナー開催

去る2月3日(水)JBSD商工部会はKDDI America, Inc.のご協力を得て、コロナ禍における最新テクノロジー情報についてのウェビナーを共催しました。

ウェビナーは、同社の専門家による座談会形式によりシリコンバレー発最新テクノロジーの具体的内容をわかりやすく解説していただきました。

当日の講師（敬称略）
傍島　建友
シリコンバレーオフィス拠点長
足立　智
北米IoT 統括事業部門長
長谷川　霞
NY 拠点ビジネスイノベーション担当

本ウェビナーに関するお問い合わせ先：
KDDI America, Inc. Michigan Office
Marketing Team
Email: kddiadt-mktg@kddia.com
Tel: 734-462-2400

ウェビナーでは、約1時間にわたり以下の最新技術について具体的な内容が紹介され、質疑応答も行われました。また寄せられた全ての質問に対してウェビナー終了後にEメールで参加者全員に回答が送られました。

紹介された最新技術

1. **ディープフェイク**
   www.youtube.com/watch?v=cQ54GDm1eL0&feature=youtu.be
2. **バーチャルヒューマン ～SK-II 事例～**
   www.youtube.com/watch?v=15BrRvuXTEE
   https://askyumi.sk-ii.com
   www.youtube.com/watch?v=u0QupAApOVI
3. **アバター制作 ～イスラエルTetavi 社～**
   www.tetavi.com
4. **社員の働くモチベーションを見える化するAI サービス～Attuned～**
   www.attuned.ai/jp/home
5. **ギグエコノミーとパッションエコノミー（a16z, Li Jin 氏）**
   https://review.foundx.jp/entry/passion-economy
6. **クリエーターを支えるサービス**
   https://a16z.com/2019/10/08/passion-economy
7. **ウェルビーイング・テクノロジー**
   https://wired.jp/2021/01/16/wired-insights-for-2021-transtech
8. **味ディスプレイ**
   www.meiji.ac.jp/koho/press/6t5h7p0000342664.html
9. **ZOZO Glass**
   www.youtube.com/watch?v=03xbxyEqz60

在デトロイト日本国総領事館

ミシガン州における屋内及び屋外での集まりの制限について

ミシガン州では、保健局長による非常事態命令により、屋内及び屋外での集まりに制限が課されています。
3月5日から4月19日までの間における主な制限は以下のとおりです。

- 住居屋内での集まりは3世帯15人まで。
- 住居屋外での集まりは50人まで。
- 住居以外の施設での屋内の集まりは25人まで。
- 住居以外の施設での屋外の集まりは300人まで。
- レストランやバーでの飲食（イートイン）は、全客席数の50％の収容率で、人数は最大100人まで。
  1テーブル6人まで（テーブル間は6フィートの社会的距離を保つ）。午後11時以降のイートインは不可。

また、引き続き、マスク等の着用、ソーシャル・ディスタンシングの保持、手洗いの励行が求められています。
詳細については、ミシガン州ウェブサイトをご覧ください。

www.michigan.gov/coronavirus/0,9753,7-406-98158-553395--,00.html

2020年度JBSD基金グラント報告

JBSD基金グラントは、日本とミシガンの相互理解ならびに友好増大を目的として1992年以来30年近くにわたり州内の非営利団体へ寄付を差し上げて活動を支援してきており、教育機関をはじめとする支援を受けた多くの団体からの感謝のお言葉を頂いております。

グラントの手続きとしては、非営利団体から翌年度の活動プロジェクトに対するグラント申請を毎年10月中旬までに受付け、JBSD基金のBoardミーティングにおける審査・承認を経て12月に授与されてきております。従来からの手続きに従って、2020年に実施が予定されていた54件のプロジェクトに対し2019年度グラントを同年12月に授与しました。しかしながら新型コロナウイルス感染拡大の影響により、予定通りプロジェクトを実施できたのは10件で残る44件は2021年に延期となりました。

コロナ禍による特異な状況を考慮し、2019年度に授与して2020年で未使用となったグラントは、2021年に延期されたプロジェクトへ適用することが基金のBoardにより承認されました。この結果、2020年度で申請を受付け、授与したグラントは基金のBoardの審査を経て下記の通りとなりました。

本年はコロナ禍が収束し、再び団体の方々と直接お会いしてお話ができる環境になることを期待したいと思います。引き続き皆様方のご支援をお願い申し上げます。

（JBSD基金事務局）

2020 JBSD Foundation Grant Award Awardees

Community Enhancement

- **Alternatives For Girls**
  www.alternativesforgirls.org
- **Center for Japanese Studies, University of Michigan**
  https://ii.umich.edu/cjs
- **Cranbrook Center for Collections and Research**
  https://center.cranbrook.edu
- **Detroit Symphony Orchestra**
  www.dso.org
- **Ensemble Hanabi**
  www.ensemblehanabi.org
- **Mosaic Youth Theatre of Detroit**
  www.mosaicdetroit.org

Education & Research

- **Clarkston High School**
  https://chs.clarkston.k12.mi.us
- **Eastern Michigan University**
  www.emich.edu
- **Hinoki Foundation, Inc.**
  www.hinokifoundation.org
- **Michigan Japanese Heritage Center**
- **Oakland Literacy Council**
  www.oaklandliteracy.com
- **West Bloomfield School District Adult Education**
  www.wbsd.org

US-Japan Relations

- **Belle Isle Conservancy**
  www.belleisleconservancy.org

JBSD基金：地元社会への貢献を通して、当地における日本人コミュニティと地元コミュニティ間の相互理解、友情、信頼関係を深める目的で1992年に設立された。日本人子弟が通う現地校をはじめとする教育機関、日米文化交流に貢献している各種団体に寄付を行いその活動を支援している。設立以来の寄付累計額は2020年度のグラントで220万ドルを超えた。

「褒める」と「叱る」について

執筆者
岩崎　博

今年は新年早々いろいろなことが起きた波乱の年明けとなりました。1月6日、連邦議会で大統領選の最終結果確認中に暴徒が乱入し、議場を一時占拠し5人もの死者が出る大惨事となりました。テレビ中継を見ていて日本の60年や70年代の騒乱事件を思い出しました。こんなことがこの国の最高府で起こったことは今でも信じたくない気持ちです。しかしもっと信じがたいことは発端が大統領選に敗れた現職が敗戦を認めないばかりか、根拠もなく選挙不正があったと主張し続けかつ一部連邦議員の支持も相まって暴徒の乱入を招いたことです。大統領によるクーデターや戒厳令布告云々が取りざたされるなどよその国のことではないかと疑いたくなる状況でした。コロナ禍は相変わらずですが、新大統領は前政権と異なりコロナ禍を認識し正面から取り組む政策を前面に打ち出してきており、また、ワクチン接種も開始されましたので本稿が皆様の目に触れるころには希望の光が見えてくるのではないでしょうか？

さて本題に入りましょう。今回は「褒める」と「叱る」について考えてみたいと思います。皆さんご承知のように、日本の文化は伝統的に叱って育てる文化であり褒められるケースはそう多くはありません。職場でも同様で、部下を指導するには至らない点、改善すべき点を指摘することが主になります。私自身、長い職場経験でも叱られたことは数多くありますが、褒められたことはめったにありませんでした。ところがここアメリカで仕事をするようになり（日本人ではない）部下を指導するときに大きな違いがあることに気づかれた方は私だけではないと思います。ここでは改善すべき点を指摘するのはもちろん重要ですが、良い点を見つけてそれを伝える、つまり褒める、あるいは感謝することが大変重要なことなのです。しかし多くの日本人はこれまで褒められたことがあまりないため、急に褒めなければと思い立っても、では一体どんなことを褒めたらよいのだろうと悩むことになります。これは実際多くの皆様からいただいた感想です。何故なのでしょうか？ 私の意見では我々は褒める内容にかなり高いハードルを設定しているのではと思います。曰く、当たり前のことを当たり前にできたこと、与えられた仕事をその通りに行ったことは特に褒めるには値しないと考えがちです。でもちょっと考えてみてください。当たり前のことを当たり前にできたということは素晴らしいことなのです。できないことだって多々あるのですから。この様な事例は立派な褒める対象例になると思います。この違いはどこから来るのでしょうか？ それはアメリカの文化が褒めて育てる文化だからでしょう。親や学校の先生は子供の良い所を見つけて伝え、それらを伸ばして行くように仕向けていく、つまり褒めるのです。洋の東西を問わず、人間褒められれば良い気分になり、ではもっと頑張ろうという気になります。これが褒めて育てるということです。なぜ日本は褒めない文化になったのでしょう。私は謙遜の文化と関連しているのではないかと思っています。日本では褒められると（本人はそれを自覚しているにもかかわらず）いえ、そんなことはありません、当たり前のことですといった返答をしますよね。自分の家族を言い表すのに「荊妻豚児（けいさいとんじ）」と言い、人に贈り物を送るとき「つまらないものですが」と表現することは謙遜の代表例でしょう。本人は全く言葉通りには思っていないのですが。これらが相まって日本では人を褒めること、特に身内を褒めることはこの謙遜文化に反するためあまりされなくなったのではないでしょうか？ それでは人を（子供を）育てるにはどうしているかというと、基準に達しない点や外れた点を指摘して直させることに重点が置かれます。これがいわゆる「叱って育てる文化」ということです。日本人社会の中だけでは皆がこの文化に馴染んでいますし、叱られてばかりでも会社組織の中で生きてこられましたが、ここ米国ではこれは通用しません。褒められる、感謝される言葉が聞けないと上司から認められていないのではないか、解雇されるのではと不安に思う気持ちが生じます。実際日系企業に勤めるアメリカ人従業員から日本人マネージャーから褒められることがほとんどなくて不安だとの意見が聞かれます。また、皆様の多くが会社で褒められたことがないと聞くとよく解雇されなかったな、と彼らは思うかもしれません。いかがでしょうか？ ご感想をお聞かせください。

それではまた次回お目にかかりましょう。

筆者紹介　岩崎　博：
神奈川県出身。Japan Intercultural Consulting（JIC）社。ミシガン州代表。ミシガン、インディアナ及びカナダの日系自動車産業で17年以上勤務の後、現職に至る。JICでは日本ビジネスに焦点を当て、定期的なセミナー、企業内研修等による日本人出向者への異文化理解、管理能力育成等の各種教育、外国人社員の教育、人事管理コンサルティング、コーチング、セクハラ予防教育等を行う国際トレーニングとコンサルティングを行っている。
本稿へのご質問・ご感想は以下まで。

Japan Intercultural Consulting（JIC）
Tel: 517-376-8496
E-mail: hiroshi.iwasaki@japanintercultural.com
www.japanintercultural.com

イベント情報

注：掲載のイベント情報に関しては、内容が変更される場合がありますので、必ずイベント主催者に確認して下さい。
また、掲載している内容に関し、いかなるトラブルが生じても、JBSDは一切責任を負いませんので予めご了承下さい。

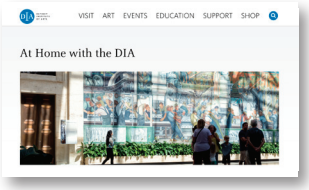
家族で楽しめる、オンラインプログラム

現在も外出が限られた多くの人たちのために、さまざまな団体がウェブサイト上にオンラインプログラムを用意しています。

デトロイト美術館（DIA at Home）

www.dia.org/athome

- 家でできるアートクラフト
- Youtubeチャンネル
- 館内ビュー DIAコレクション見学
- オンライン社会見学プログラム
- 過去イベント動画
- 木曜イベント（1:00pm）Liveオンライン勉強会



※なお、デトロイト美術館は現在再開中です。
（お出かけの際は、マスク着用必須。お支払いはクレジットカードのみ利用可能）

デトロイト・シンフォニー・オーケストラ（DSO）

www.dso.org

- ライブウェブキャスト
- 過去の演奏会無料動画DSO Replay
- アーティスト、音楽家インタビュー
- 教育用クラスルームエディション

ミシガン大学美術館（UMMA）

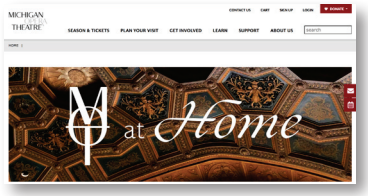
https://umma.umich.edu

- Virtual Online Field Trip（オンライン社会見学 for Kids K–5th Grades）
  https://exchange.umma.umich.edu/resources/28098/view
- Art at Home（植物アートに挑戦）
- UMMA Culpture & Yoga（彫刻とヨガ）
- バーチャルコレクション閲覧

ミシガン・オペラ・シアター（MOT at Home）

https://michiganopera.org/mot-at-home

- オペラ＆ダンス ブログ
- スタジオアーティストのパフォーマンス
- Facebookライブオペラトーク
- ポッドキャスト
- オペラオンデマンド（有料）



乳幼児親子教室（りんご教室）講師募集のお知らせ

保育士・幼稚園教諭・音楽指導者・保健師・心理療養士などの経験のある方を探しています。

勤務場所：Novi Meadows Elementary School 内 デトロイト補習授業校（Novi市）
勤 務 日：月1回～3回の木・金曜または土曜日（ご相談次第）
および定例会月1回水曜日
勤務内容：0～5歳児の親子を対象とした、保育活動・音楽活動・保護者の相談時間。
1クラス講師2名がチームとなって運営し、1クラス当たり3時間半勤務です。
※ グリーンカード、就労ビザをお持ちの方歓迎です。
※Lビザ・Eビザをお持ちの方は、労働許可書取得のお手伝いをいたします。
問合わせ：乳幼児親子教室（りんご教室）
HP: www.jsd.org • Email: Oyako@jsd.org
（火・水：10:00am–3:00pm・木：12:00pm–2:00pm）

詳細は、デトロイトりんご会補習授業校ホームページ（www.jsd.org）から『乳幼児親子教室』をご参照ください。
※ 初期画面の下段の方に『乳幼児親子教室』があります。

編集委員の独り言

新型コロナは新たな基準で我々を2つに分断したように思う。感染防止対策を徹底して（心の中では）周囲にもそれを要求する人々と感染を恐れず行動の自由を主張する人々である。普段の会話や交流では普通に仲良く話ができても、話が新型コロナに及ぶとお互い合い入れず、全く自分の意見を譲らず激しく対立し、人間関係を壊しかねないほど険悪になる場合もある。一方が100％正しいとは言えずまた間違っているとも言えない。愛煙家と嫌煙家の関係ように、あるいは異なる宗教や政治的信条を持つ友人のように同僚や友人とのコミュニケーションにおいて避けねばならないテーマがまた一つ増えたということであろうか．．．。早くワクチンが行き渡り感染の危機が完全になくなるか、感染してもインフルエンザ程度にウイルスが弱体化するか、いずれにしてもこの新しい分断の溝が一日も早く消滅することを願う。 H.U.

Japan Business Society of Detroit
42400 Grand River Ave.
Suite 202, Novi, MI 48375

家族で読むViews

今月のトピック

- 新首席領事着任のご挨拶 1
- リレー随筆：庭のさくら 3
- 2020年度JBSD基金グラント報告 5
- 異文化の海を泳ぐ：「褒める」と「叱る」について 6

Views views@jbsd.org（編集部）

皆様からのご意見、ご感想をお待ちしていますのでお気軽にお寄せ下さい。投稿も大歓迎です。

https://jbsd.org でもViewsをご覧いただけます。

当会SNSページもぜひチェックしてください。
www.facebook.com/jbsdmichigan
www.instagram.com/jbsd_michigan

JBSD行事予定

Coming Up!

商工部会・Fragomen, Del Rey, Bernsen & Loewy LLP共催
移民法ウェビナー
日　時：4月8日（木）2:00pm–3:00pm（含Q&A）
参加費：無料
定　員：100名
言　語：日本語
講　師：荒木信太郎 弁護士
Fragomen, Del Rey, Bernsen & Loewy LLP パートナー

バイデン政権における、アメリカ移民法政策～日本企業へのインパクト
- バイデン政権の政策骨子・前政権との違い
- 優先度の高い政策内容とは
- 政権発足から現在に至る大統領令の内容
- アメリカ移民局や在日米国大使館への影響

申込みは以下リンクにて事前登録
https://us02web.zoom.us/webinar/register/WN_-_4KNgvBQWGZ9g4mu20EdA

Views編集者 退任のごあいさつ
2009年より弊紙編集を担当をしてきましたが、今号をもって退任いたします。Views制作・編集にあたり、歴代広報部会（編集委員）の方をはじめとする多くの方々にサポートを頂きましたこと、また、関係各位、ご寄稿くださった方との大変貴重なご縁に心より感謝申し上げます。今後もJBSD、JBSD基金の更なる発展を祈念しております。
（ブルックス 晶子）

お申し込みについてはJBSD事務局ウェブサイト（jbsd.org）をご確認ください

事務局長だより

本年も早や3か月が過ぎました。日本では今年は桜の開花が例年よりも早く、既に満開時期を終えたところが出てきています。ミシガンは春の気配が濃くなってきましたが沢山の花を見ることができるのはもう少し先になりそうです。

さて今年は、コロナ禍のために3月に実施されたりんご会補習授業校の卒園・卒業式は已む無くオンラインも活用した式典となり、頑張ってきた児童・生徒の皆さんは本当に残念な思いをされたとお察しいたします。コロナ禍はまだ収束の兆しを見せておりませんが、ミシガンではワクチン接種が積極的に進められ3月中旬には一回目、二回目の接種を終えた人が合計で320万人を超えましたので、この記事をお読みいただくころには400万人に近くなっているのではないかと思います。ミシガン州の人口は約800万人ですので数字で見る限りは順調に進んでいると感じます。いっぽうでは変異株への対応もありますが、7月頃には収束に向けた気配を見ることができればと願うばかりです。

JBSDのイベントも州政府のガイドラインに従ったうえで、特に屋外イベントはできるだけ実施する方向で各部会の常任委員の方々により前向きな検討をしていただいております。

日本も今年中にワクチン接種が順調に進み状況が改善されて2022年の新年会は日本からのパフォーマーをお招きして実施することをはじめ、従来のように多くの会員が集えるイベント環境が整うことを祈りたいと思います。